

科目コード	34370	科目名	保育・教職実践演習	単位数	1
-------	-------	-----	-----------	-----	---

設題1	
レポート設題	次の設題について、1,000 字程度でレポートを作成してください。
<p>幼児期の教育と小学校教育の接続期のカリキュラムについて、「幼児期に育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の2つの観点を踏まえて説明してください。</p>	
用語解説	次の用語について、説明してください。(用語解説全部で 500 字程度)
<p>① 学級経営 ② 子ども理解 ③ 特別支援教育コーディネーター</p>	
<p>— 作成の手引き —</p> <p>【レポート設題】 テキスト第5章 第3節 幼児期の教育と小学校教育の接続期のカリキュラム p59～p62 を熟読する。 そして、幼稚園教育要領解説 第1章 第2節 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」p50～p53、及び、第1章 第3節 5 (1) 小学校以降の生活や学習の基盤の育成 p90～p91 を参考にして、「幼児期に育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の2つの観点を踏まえて、レポートを作成してください。</p> <p>【用語解説】 以下をしっかりと学習する。 ① 学級経営；テキスト第2章 第1節 (2) (3) p14 ② 子ども理解；テキスト第3章 第5節 (1) p29～p31 ③ 特別支援教育コーディネーター；テキスト第4章 第1節 (2) 2 p39～p40</p>	
参考書	
<p>テキスト「保育・教職実践演習」(豊岡短期大学) 幼稚園教育要領解説(平成30年3月、文部科学省)</p>	

【学習の目的・ねらい】

これまで学んできた学習知と教育実習等で得られた指導力や実践知とのさらなる統合を図り、使命感や責任感に裏付けされた確かな実践的指導力を身に付けた「学級担任ができる」人材を育てる。
その際、教育現場・保育現場で直面する問題に対して対応力を学ぶことを狙いとする。

【学習の進め方】

【レポート設題】

設題の意味を理解して、まず、

○テキスト第5章 第3節 幼児期の教育と小学校教育の接続期のカリキュラム p59～p62 を熟読し、接続期のカリキュラムの意義や必要性について理解する。

次に、

○幼稚園教育要領解説 第1章 第2節 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」 p50～p53、

○幼稚園教育要領解説 第1章 第3節 5 (1) 小学校以降の生活や学習の基盤の育成 p90～p91 を熟読して、
・幼児に生きる力の基礎を育むために、小学校以降の子どもの発達を見通しながら「幼児期に育みたい資質・能力」を育むこと、
・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は「幼児期に育みたい資質・能力」が育まれている幼児の具体的な姿であることを理解する。

以上のことを踏まえて、接続期のカリキュラムについてレポートを作成する。

【用語解説】

テキスト「保育・教職実践演習」（豊岡短期大学）の該当箇所を熟読して、まとめる。

- ① 学級経営；テキスト第2章 第1節 (2) (3) p14
- ② 子ども理解；テキスト第3章 第5節 (1) p29～p31
- ③ 特別支援教育コーディネーター；テキスト第4章 第1節 (2) 2 p39～p40

なお、【レポート設題】及び【用語解説】のいずれでも、できるだけテキスト以外の文献も参照すること。

特に、レポート作成では「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」（幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議 平成22年11月11日）に目を通したい。そして、文献中の文章をそのまま引用するのではなく、内容をしっかりと理解して、自分の言葉で表現すること。

【学習のポイント等】

「幼児期の教育と小学校教育は、それぞれの段階における役割と責任を果たすとともに、子どもの発達や学びの連続性を保障するため、両者の教育が円滑に接続し、教育の連続性・一貫性を確保し、子どもに対して体系的な教育が組織的に行われることが重要である。」「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」という事をしっかりとおさえてレポートを作成したい。